

2014年度 決算説明会

第91期(2014年4月1日～2015年3月31日)

2015.5.21



太平洋工業株式会社

目 次

1. 会社の概要
2. 2014年度実績ならびに
2015年度予想
3. 中長期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概況

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業		その他	合計
事 業			タイヤバルブ・制御機器事業	TPMS事業		
単 独	'14売上高	392億円 (63.2%)	115億円 (18.6%)	113億円 (18.2%)	—	620億円 (100%)
	主要工場	西大垣・東大垣・養老 九州・栗原・若柳	美濃・北大垣	北大垣	—	国内8工場
連 結	'14売上高	685億円 (69%)	310億円 (31%)		3億円 (0%)	999億円 (100%)
	人 員	2,225人	985人		210人	3,420人
	海外生産拠点	台湾・米国 中国・タイ	台湾・韓国・タイ	米国	—	5ヶ国 9工場
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ、バルブコア 空調用制御弁 カーエアコン用コンプレッサー部品	TPMS	ゴルフ場 ソフトウェア 保険代理店	
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ プライムアースEVIナジー	ブリヂストン、横浜ゴム、住友ゴム、東洋ゴム イノアック、ミシュランタイヤ、トピー工業 デンソー、豊田自動織機、サンデン、ハンラ空調 ヴァレオ、パナソニック、東芝	トヨタ ホンダ 日産	地域企業	

1-2 企業結合の状況

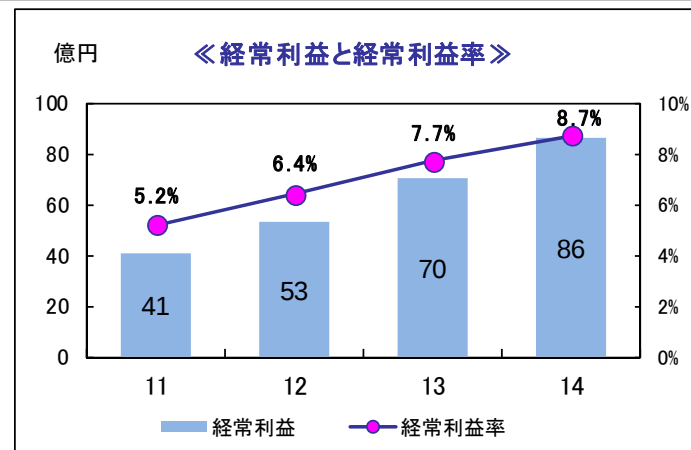
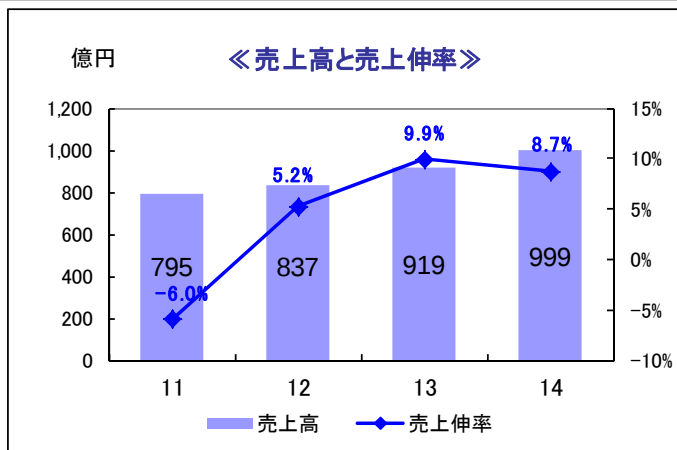
★は新会社

プレス・樹脂製品事業		バルブ製品事業		その他	
連結	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 1984年設立 売上高:70億円 人員:300人		国内連結子会社	
	タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd 1989年設立 売上高:16億円 人員:200人		太平洋開発(株) 太養興産(株) 1972年設立 売上高:2億円 人員:20人	
	米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc. 1999年設立 売上高:241億円 人員:560人		ピーアイシステム(株) 1987年設立 売上高:6億円 人員:60人	
		★Pacific Manufacturing Tennessee, Inc. 2014年設立			
	中国	天津太平洋汽車部件有限公司 2005年設立 売上高:60億円 人員:230人 長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 2011年設立 売上高:11億円 人員:105人		韓国	太平洋バルブ工業株式会社 1987年設立 売上高:17億円 人員:90人 太平洋エアコントロール工業株式会社 2004年設立 売上高:40億円 人員:180人
国内	太平洋産業株式会社 1974年設立 売上高:11億円 人員:20人		中国	★太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司 2014年設立	
持分法適用会社		PECホールディングス株式会社(日本) 1961年設立 売上高:175億円 人員:990人		欧州	Pacific Industries Europe NV/SA 2012年設立

2-1 連結業績実績

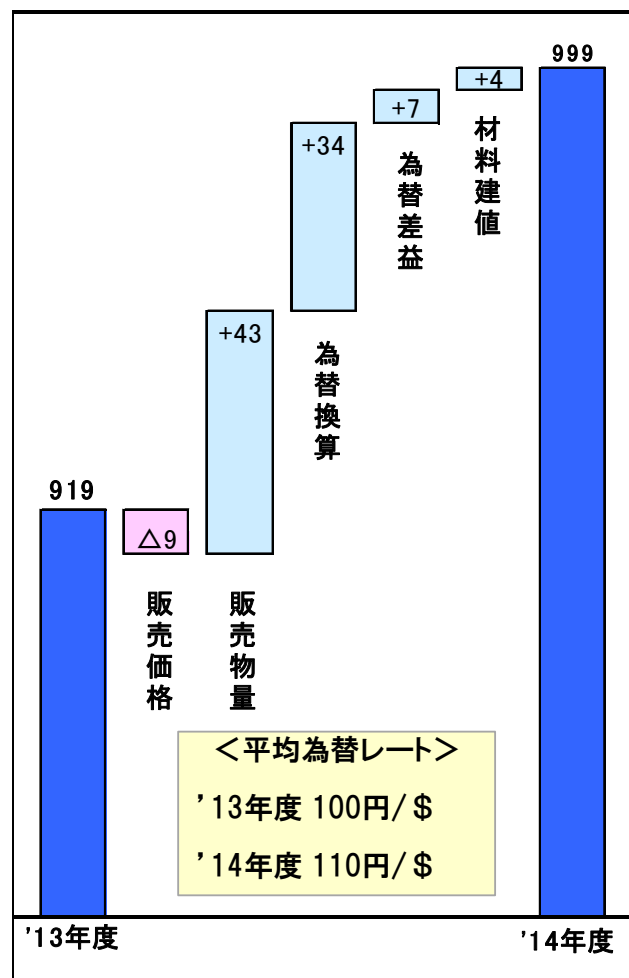
[百万円]

	13年度	14年度							
		15年2月 発表値	実績	連単 倍率	前期比		発表値比		
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	91,976	97,500	過去最高 99,952	1.6	7,975	8.7%	2,452	2.5%	
営業利益	5,500	6,800	過去最高 6,962	1.4	1,462	26.6%	162	2.4%	
経常利益	7,062	8,400	過去最高 8,691	1.3	1,628	23.1%	291	3.5%	
当期純利益	4,587	6,000	過去最高 6,714	1.4	2,127	46.4%	714	11.9%	
売上経常利益高率	7.7%	8.6%	8.7%		1.0%		0.1%		
ROE	8.7%	—	10.2%		1.5%		—		
ROA	6.6%	—	6.9%		0.3%		—		
一株当たり純資産(円)	1,079	—	1,385		306		28.3%		—

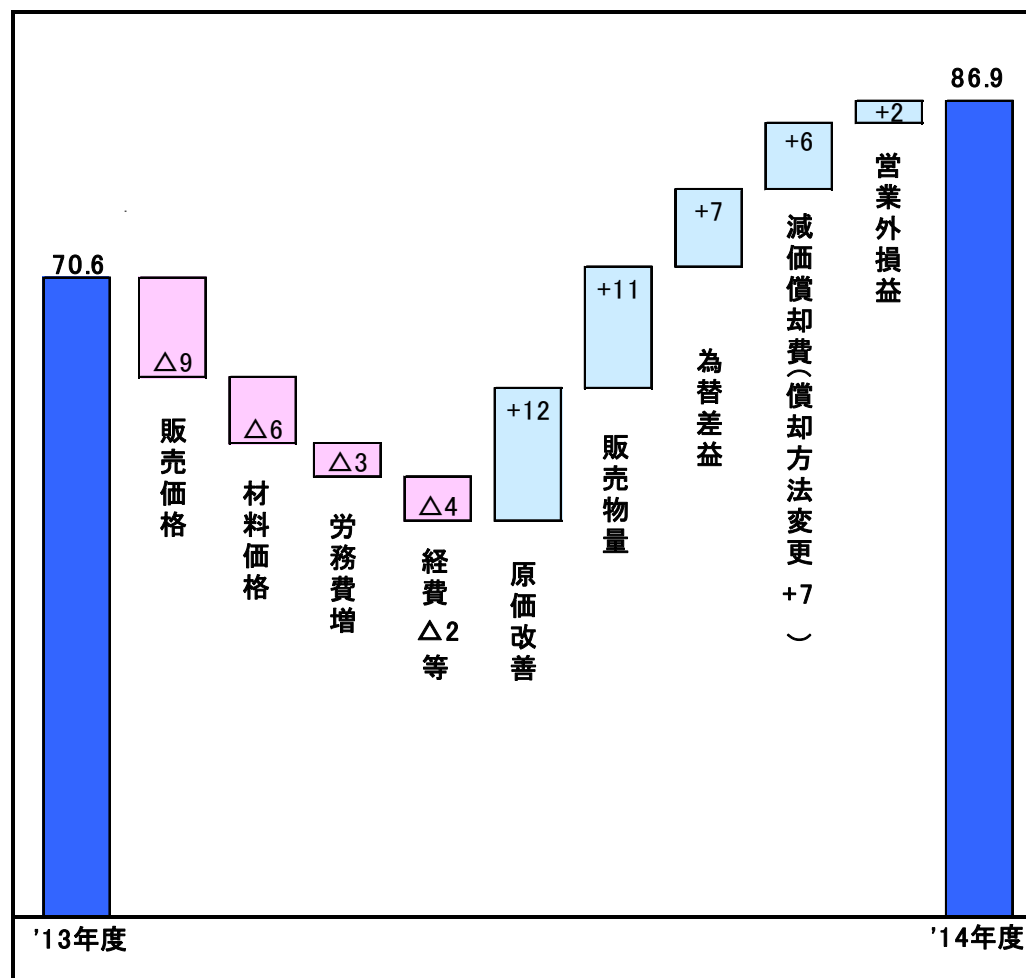


2-2 連結売上高・経常利益増減要因

《14年度 対 13年度》
売上高 +79億円



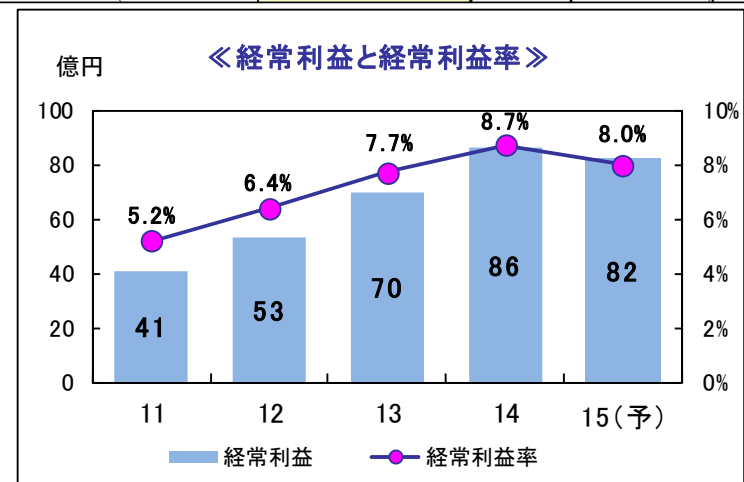
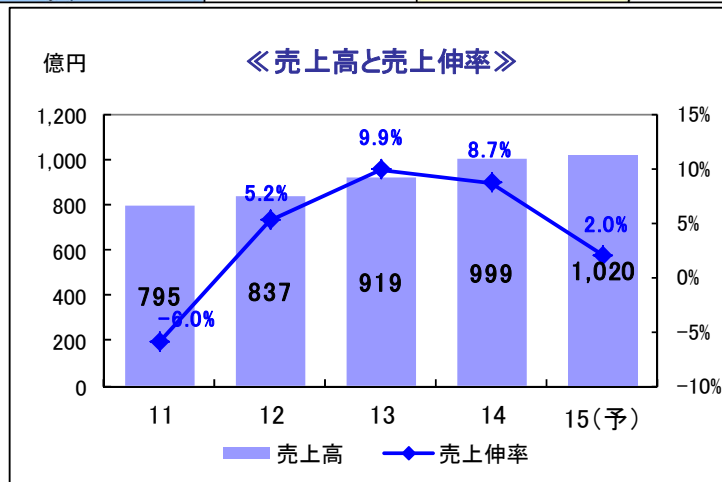
《14年度 対 13年度》
経常利益 +16億円



2-3 連結業績予想

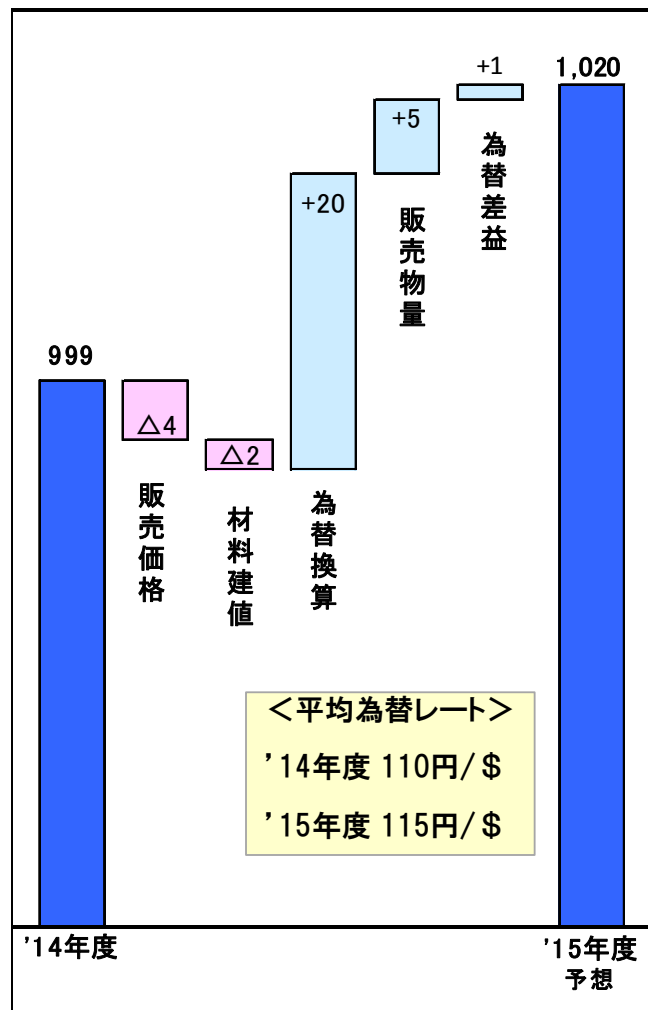
[百万円]

	13年度	14年度				15年度			
		実績	連単 倍率	前期比		予想	連単 倍率	前期比	
				増減	増減率			増減	増減率
売上高	91,976	過去最高 99,952	1.6	7,975	8.7%	過去最高 102,000	1.7	2,048	2.0%
営業利益	5,500	過去最高 6,962	1.4	1,462	26.6%	過去最高 7,000	1.5	38	0.5%
経常利益	7,062	過去最高 8,691	1.3	1,628	23.1%	8,200	1.4	△491	△5.6%
当期純利益	4,587	過去最高 6,714	1.4	2,127	46.4%	6,000	1.4	△714	△10.6%
売上利益率	7.7%	8.7%		1.0%		8.0%		△0.7%	
ROE	8.7%	10.2%		1.5%		7.9%		△2.3%	
ROA	6.6%	6.9%		0.3%		6.0%		△0.9%	
一株当たり純資産 (円)	1,079	1,385		306	28.3%	—		—	

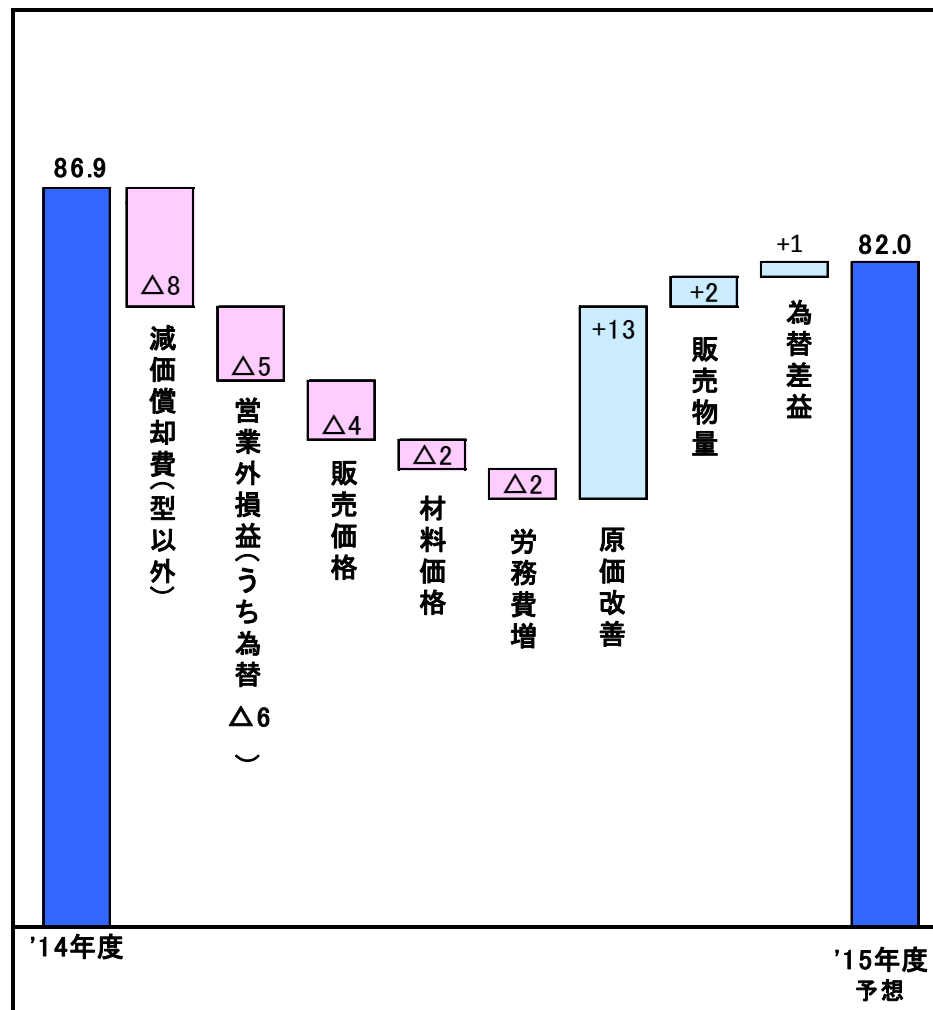


2-4 連結売上高・経常利益増減要因(予想)

《15年度予想 対 14年度》
売上高+20億円



《15年度予想 対 14年度》
経常利益△5億円



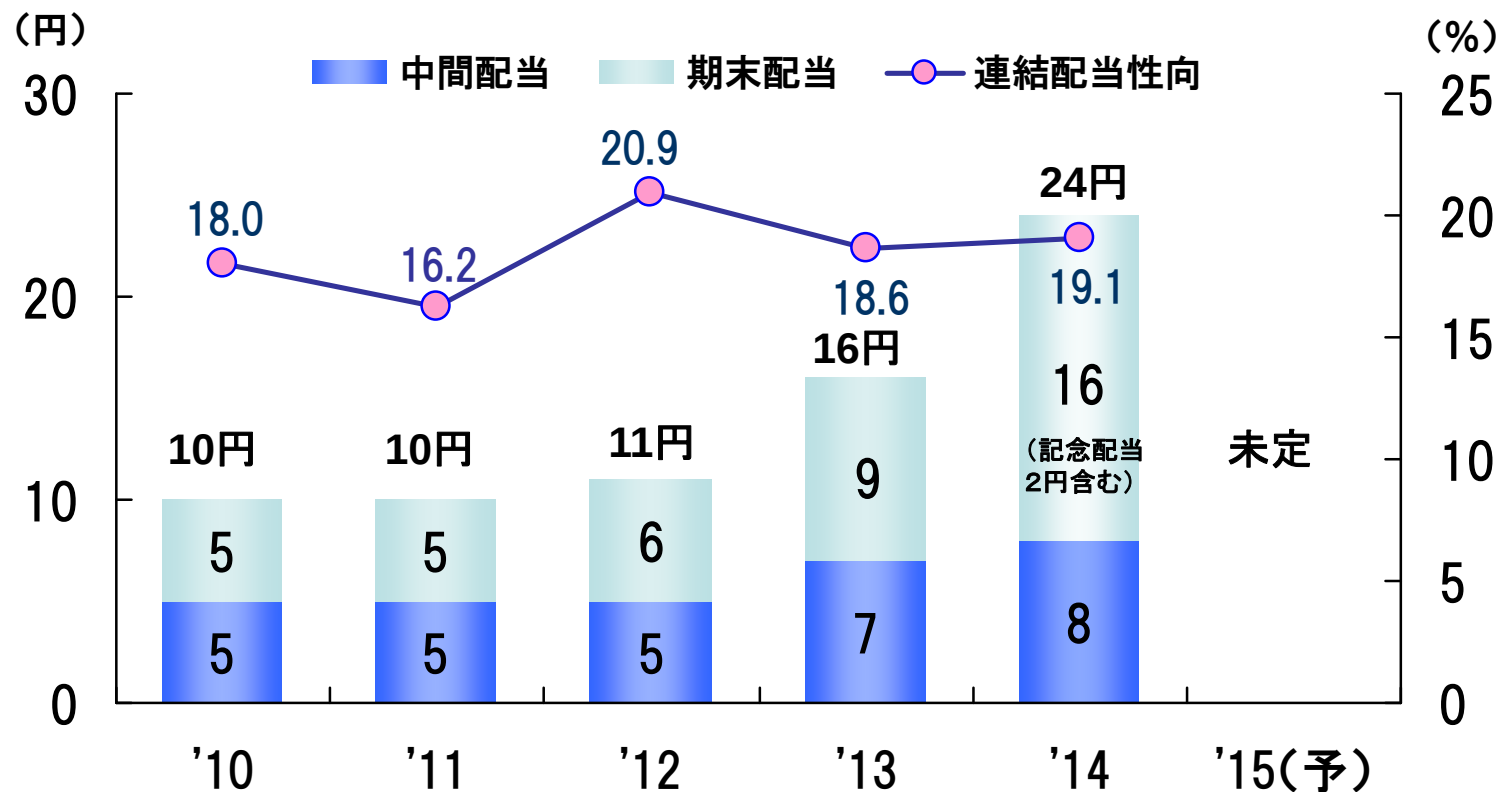
2-5 株主還元

■年間配当

2014年度 年間:24円(中間:8円 期末:※16円)

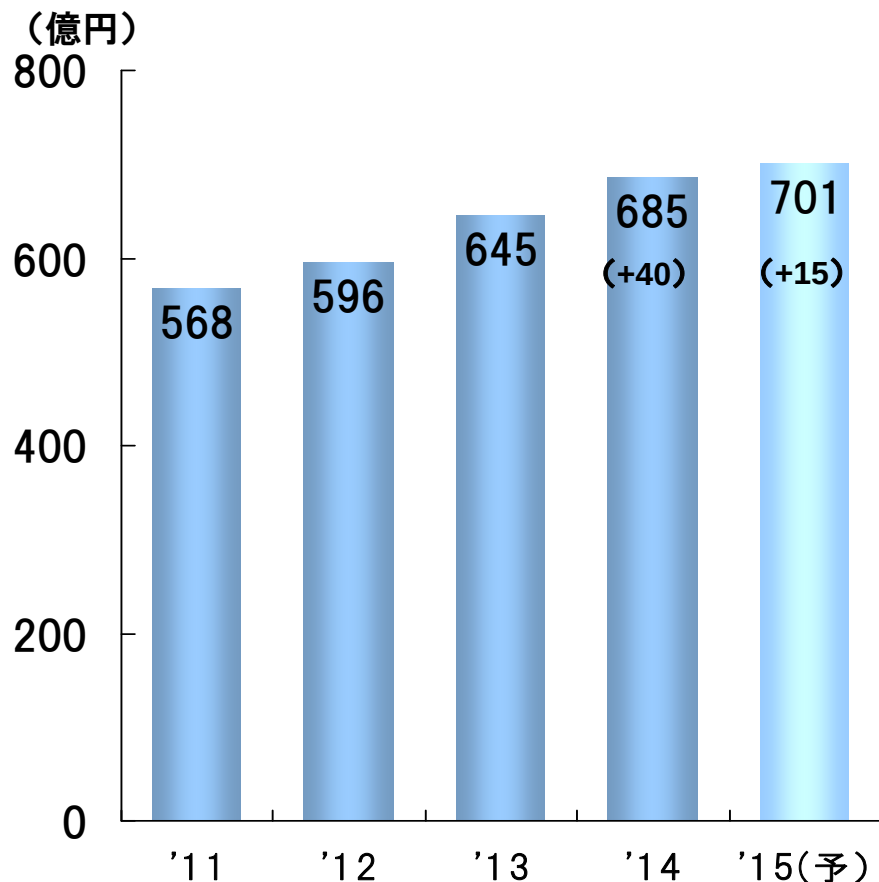
※創業85周年記念配当2円含む

2015年度予想 年間:未定



2-6 事業別セグメント: プレス樹脂製品事業⁸

売上高

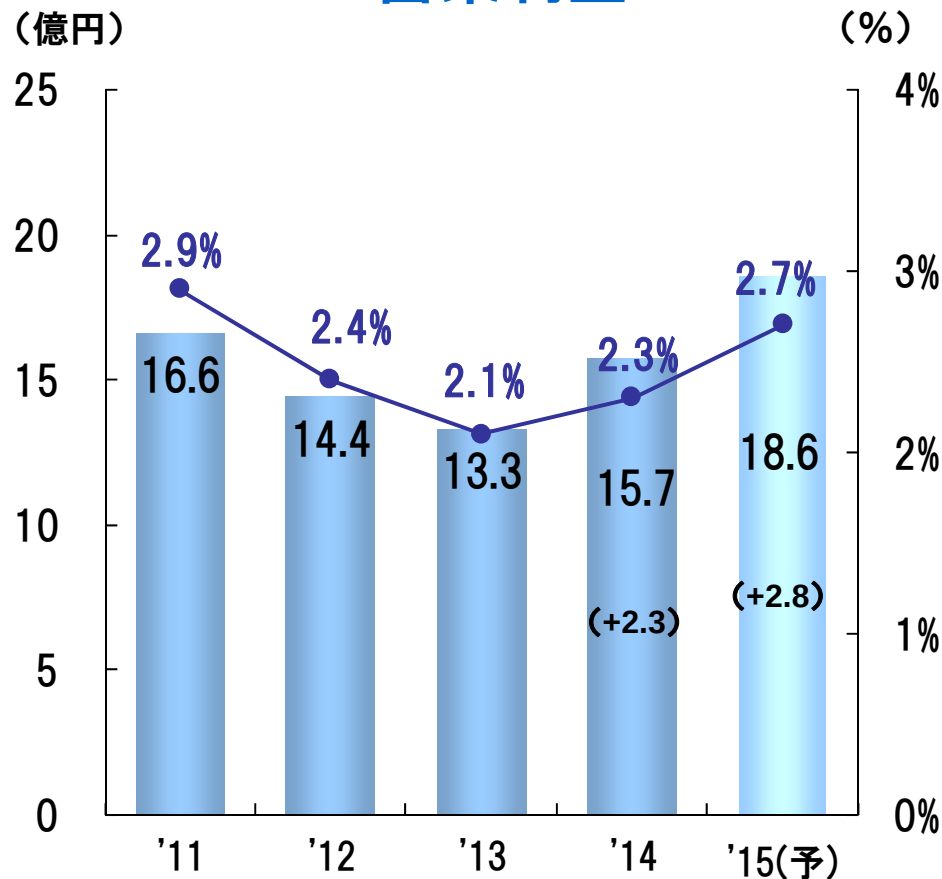


<売上高>

2014年度は、消費税増税の影響により日本では減少したものの、好調な経済を背景に米国、中国では増加し、増収を確保。

2015年度は、中国を中心にアジアでの拡販が寄与し、前年を上回る見込み。

営業利益



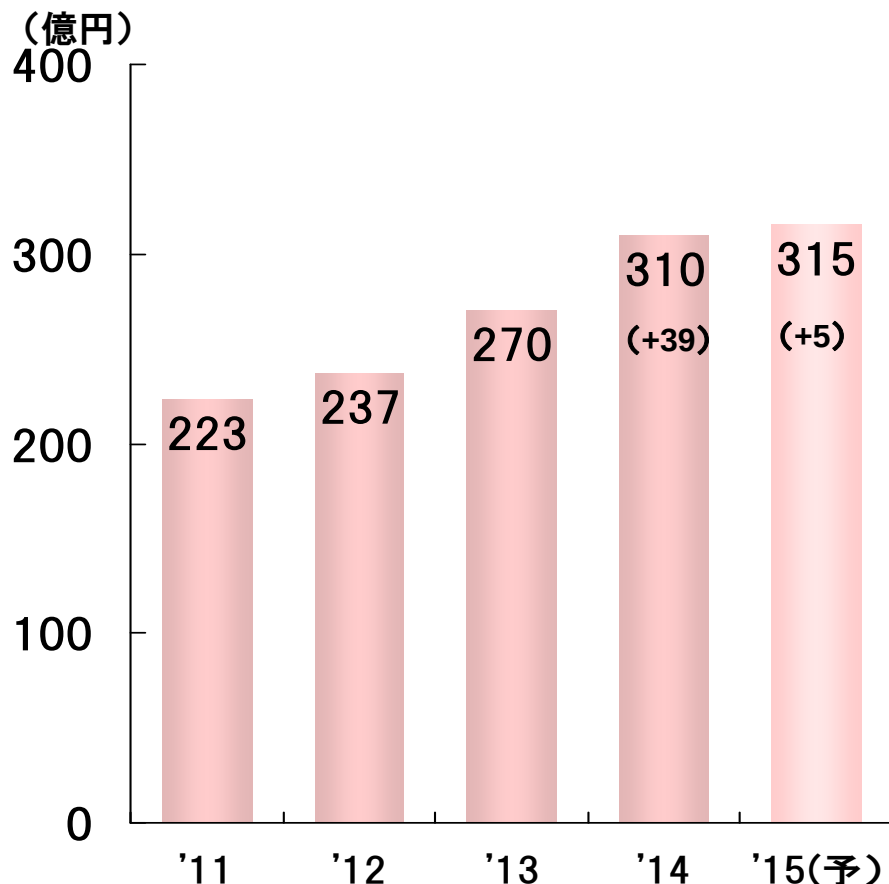
<営業利益>

2014年度は、日本での販売物量の減少の影響はあるものの、原価改善、減価償却費の減少(償却方法変更を含む)が寄与し増益。

2015年度は、減価償却費の増加はあるものの、原価改善等の寄与により増益を見込む。

2-7 事業別セグメント:バルブ製品事業

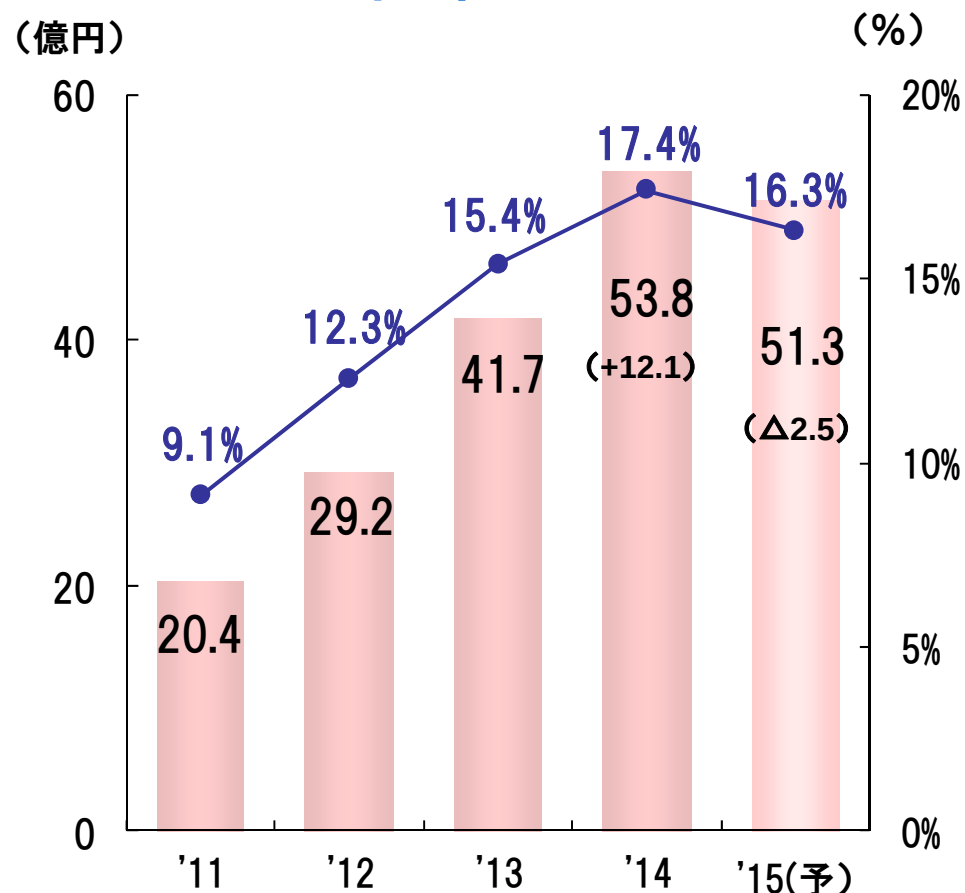
売上高



<売上高>

2014年度は、バルブ関連製品やTPMS製品の海外での販売が好調であったのに加え、円安の影響もあり、大幅な増収。
2015年度は、国内、米国での減収をアジア地域での増収でカバーし、前期を上回る見込み。

営業利益

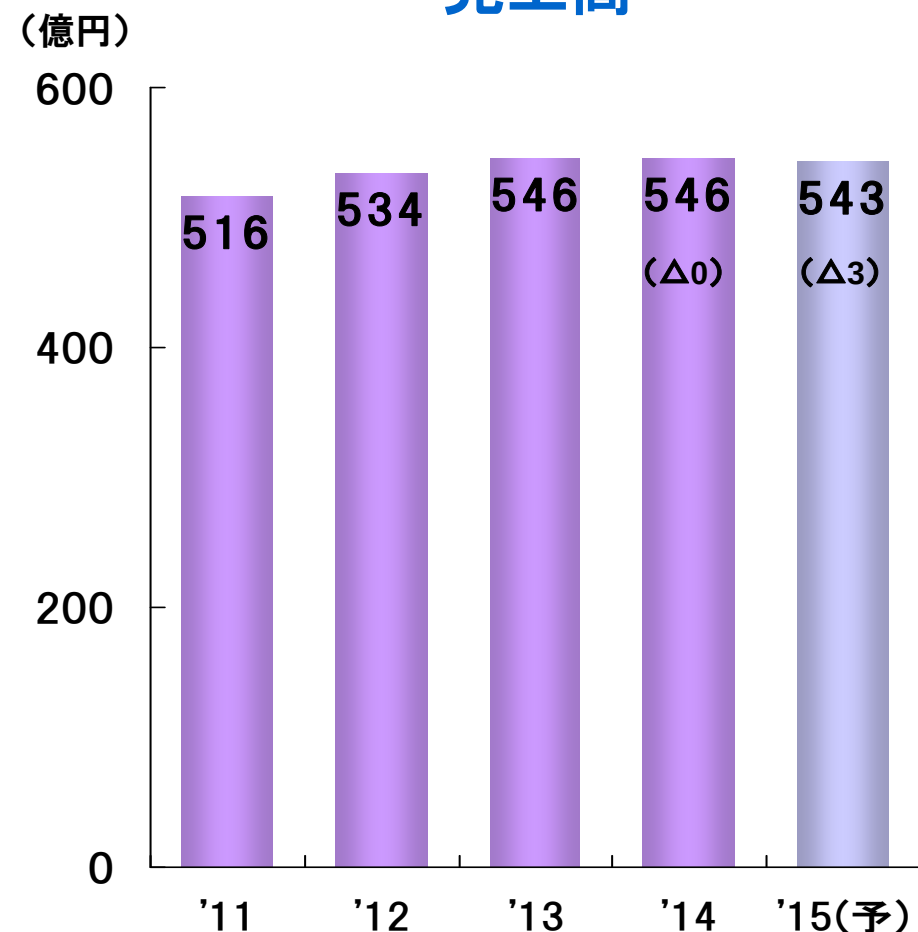


<営業利益>

2014年度は、販売物量増加や原価改善に加え、円安に伴う為替差益等が寄与し、大幅な増益。
2015年度は、米国でのTPMS生産移管が堅調に推移するものの、日本のバルブ事業の販売価格の低下が影響し、減益を見込む。

2-8 地域別セグメント:日本

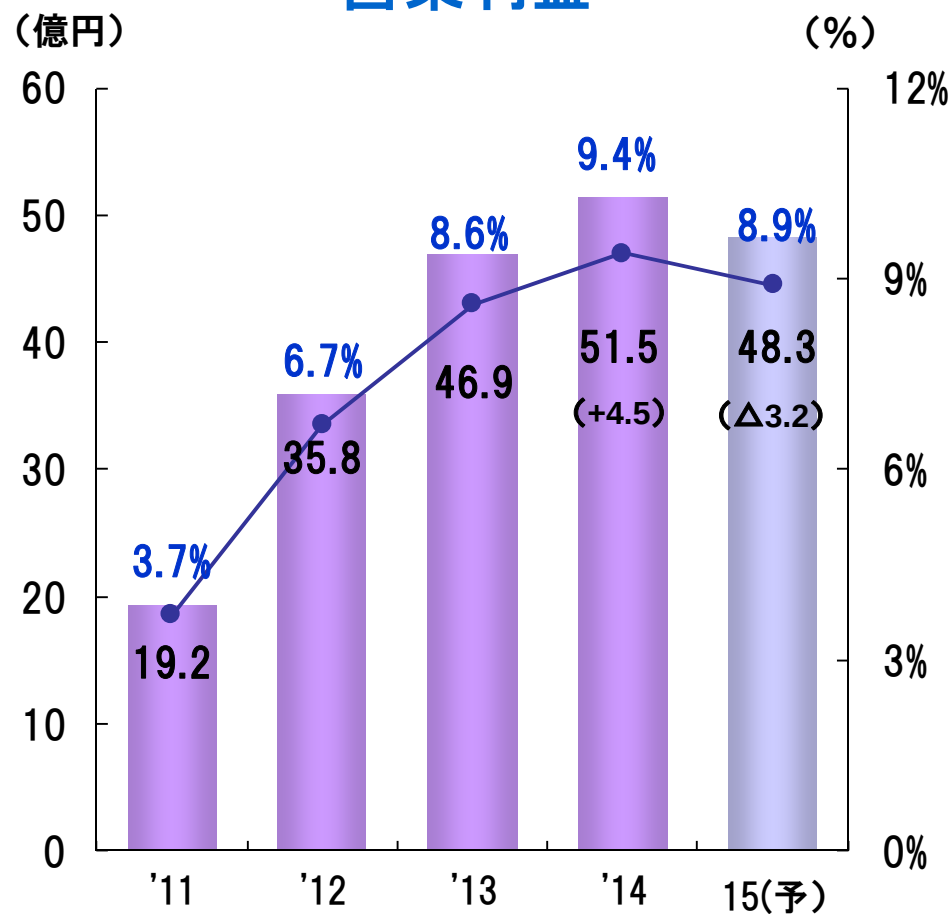
売上高



<売上高>

2014年度は、主要顧客の国内自動車生産が前期より減少したものの、輸出の伸びや円安が寄与し、前年並みの売上高を確保。2015年度は、主要顧客の国内自動車生産は前期を上回ると予想されるものの、販売価格の低下により、前年並みとなる見込み。

営業利益



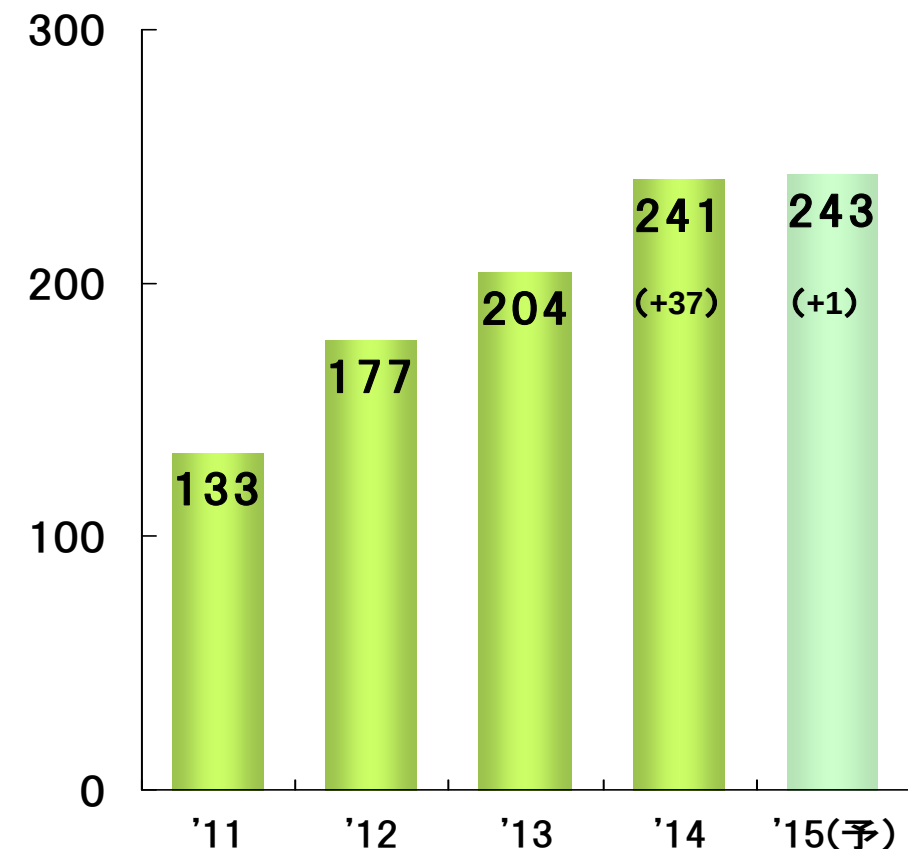
<営業利益>

2014年度は、販価下げ、原材料価格値上等はあるものの、原価改善、減価償却費の減少(償却方法変更を含む)等寄与し増益。2015年度は、原価改善による増益効果はあるものの、販売価格の低下、減価償却費の増加等が影響し、減益を見込む。

2-9 地域別セグメント:北米

売上高

(億円)



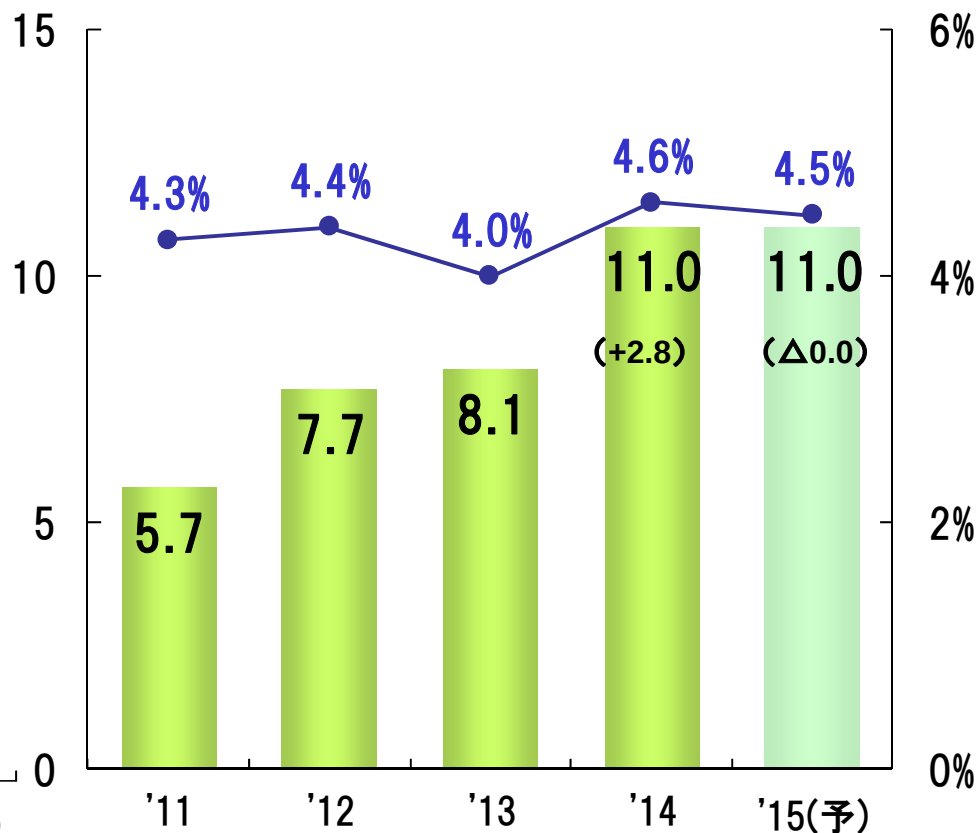
<売上高>

2014年度は、好調な米国経済を反映し、主要顧客の自動車生産も堅調に推移し、円安の影響もあり、売上高は前期を上回る。
2015年度は、販売価格の低下等の影響はあるものの、金型販売の増加でカバーし、前年並みとなる見込み。

営業利益

(億円)

(%)

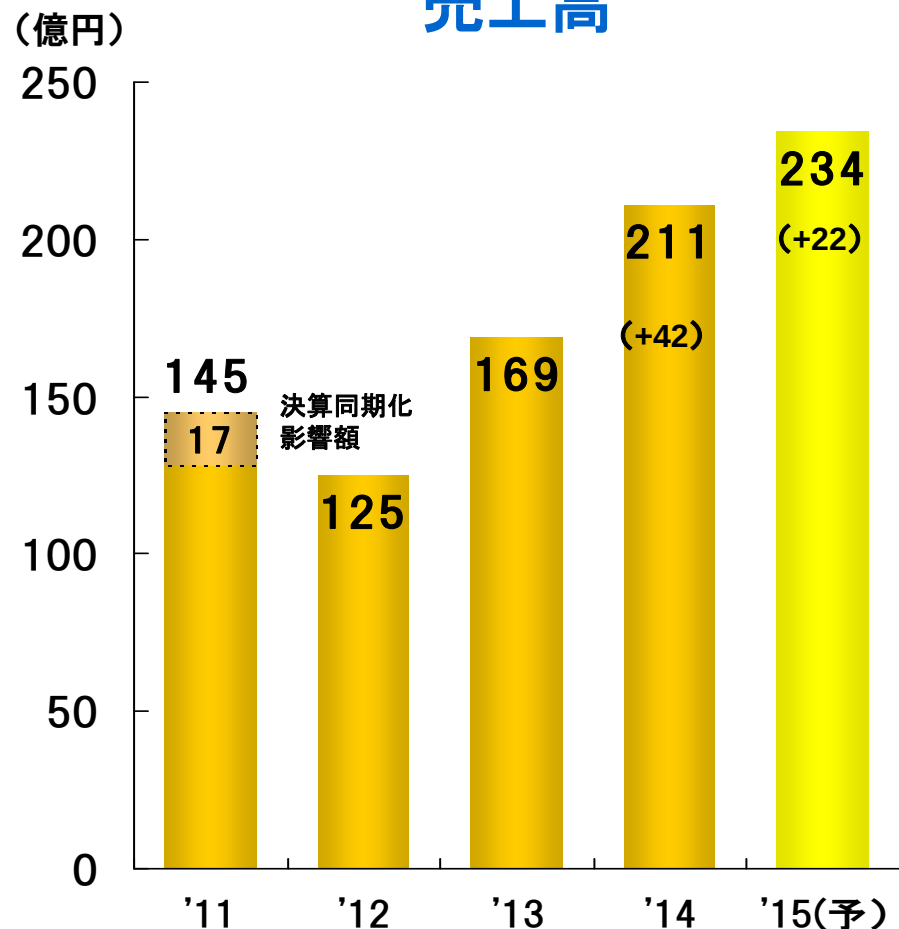


<営業利益>

2014年度は、販売価格の低下等はあるものの、販売物量の増加や原価改善が寄与し、増益。
2015年度は、新規子会社立ち上げ負担はあるものの、原価改善等により前年並みとなる見込。

2-10 地域別セグメント:アジア

売上高

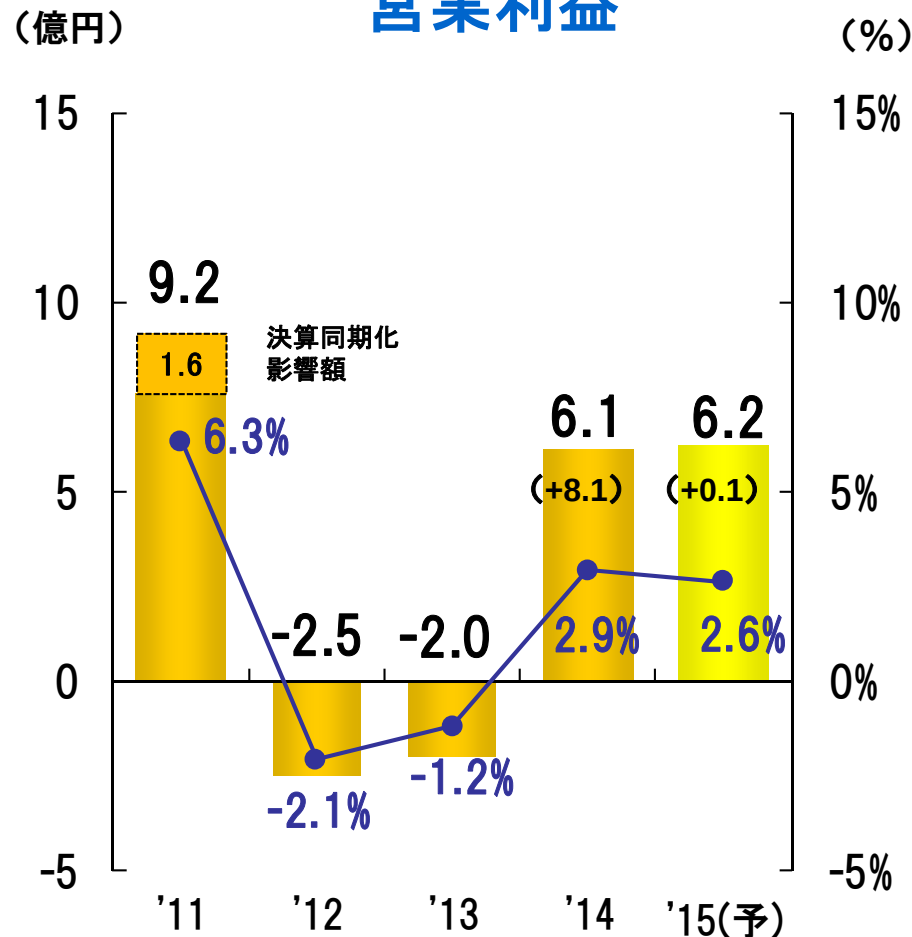


<売上高>

2014年度は、中国での拡販、韓国でのコンプレッサー関連製品の増産等が寄与し、前期を大幅に上回る。

2015年度は、中国での売上増加に加え、タイでの樹脂事業が本格化し、売上高は前期を上回る見込み。

営業利益



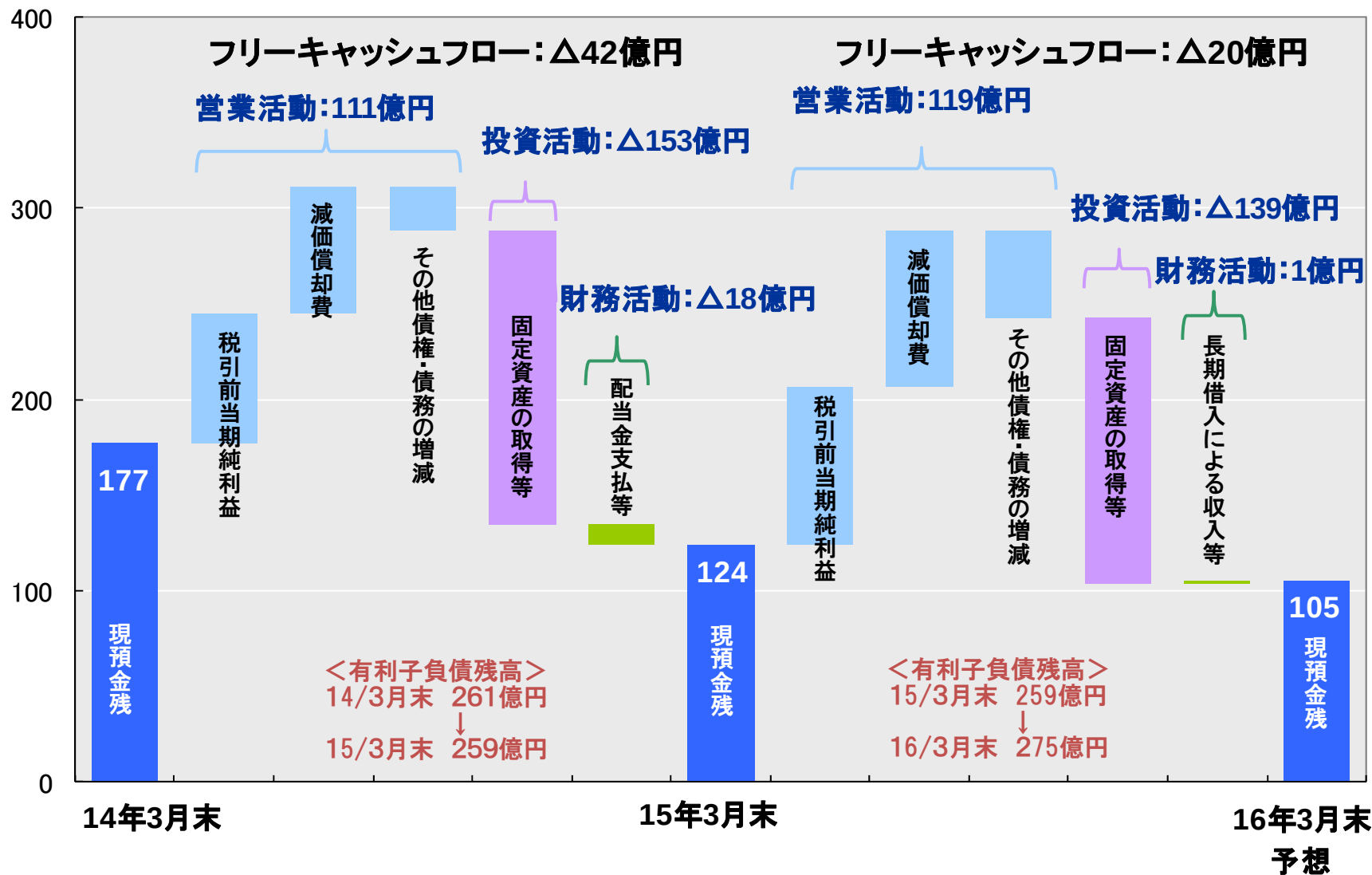
<営業利益>

2014年度は、拡販等により販売物量の増加、中国での事業立上げ負担の軽減、原価改善が寄与し、黒字化。

2015年度は、中国でのTPMS事業の立上げ負担等はあるものの、販売物量増加、原価改善等により、前期並みの利益を見込む。

2-11 連結キャッシュフロー予想

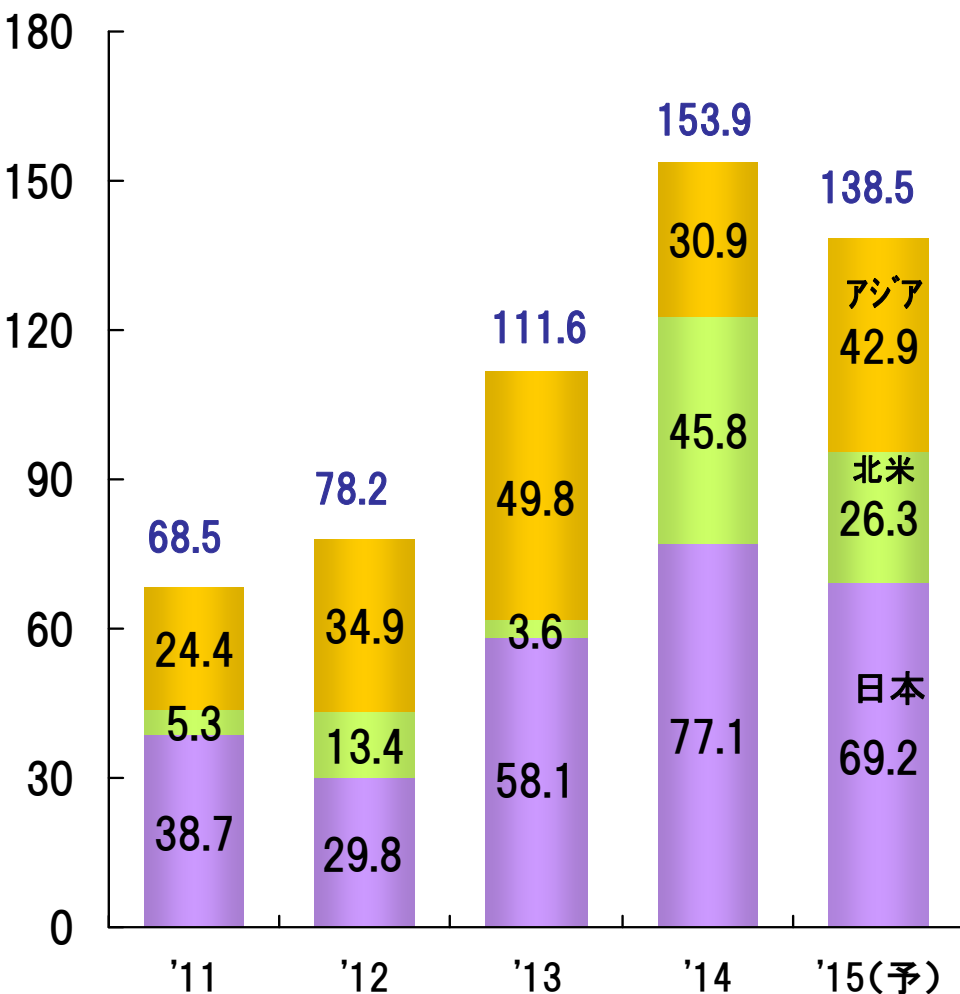
(億円)



2-12 連結設備投資・減価償却費予想

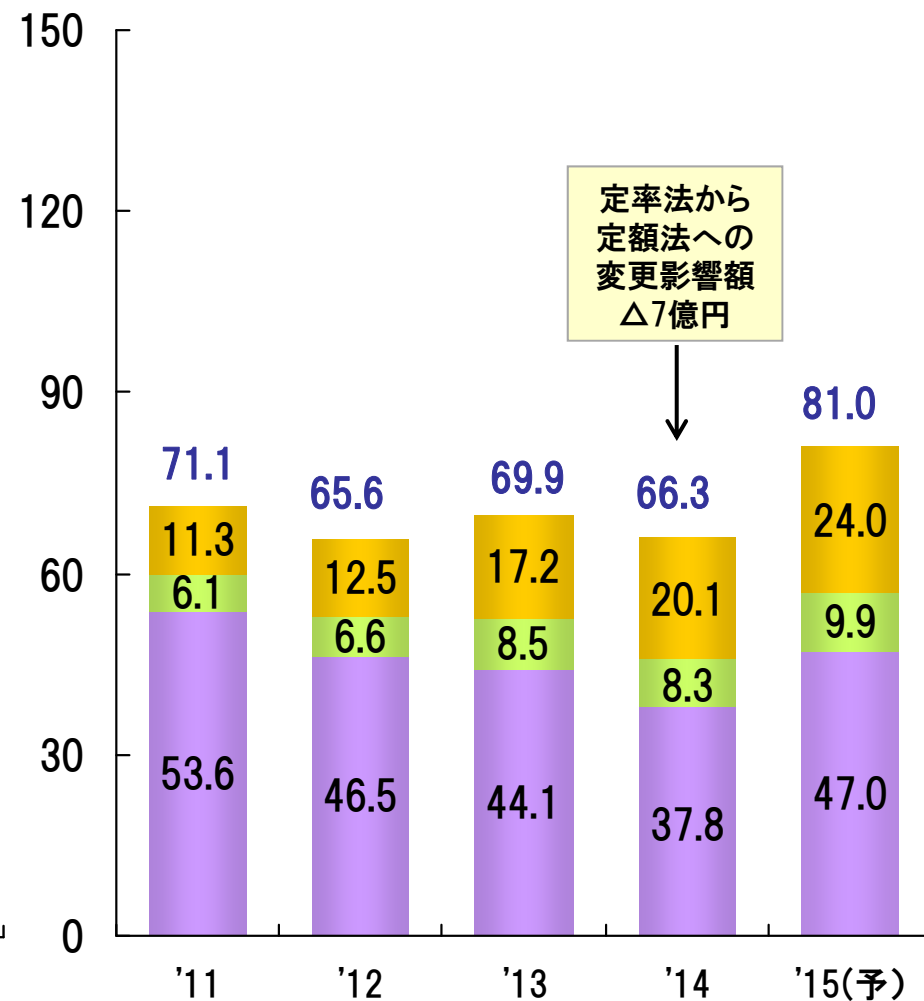
《設備投資》

(億円)



《減価償却費》

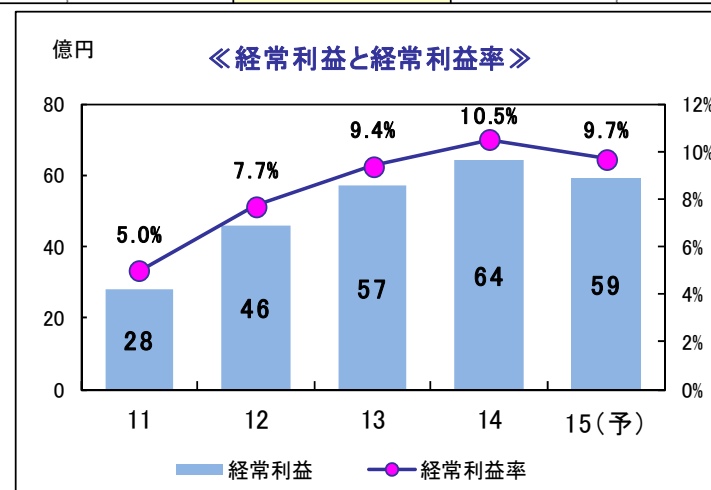
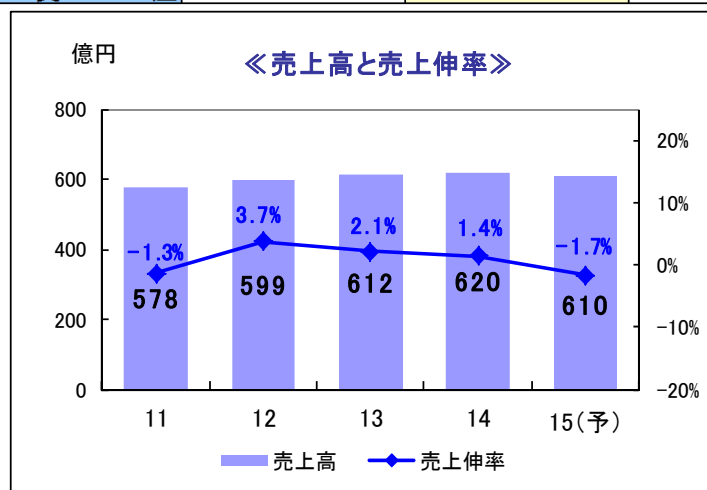
(億円)



2-13 <参考>個別業績実績・予測

[百万円]

	13年度	'14年度				'15年度		
		実績	前期比		予想	前期比		
			増減	増減率		増減	増減率	
売上高	61,206	62,080	874	1.4%	61,000	△1,080	△1.7%	
営業利益	4,669	過去最高 5,115	445	9.5%	4,800	△315	△6.2%	
経常利益	5,778	過去最高 6,493	714	12.4%	5,900	△593	△9.1%	
当期純利益	3,618	過去最高 4,643	1,024	28.3%	4,400	△243	△5.2%	
配当金(1株当り)	16円	24円	8	50.0%	未定	—	—	
売上利益率	9.4%	10.5%	1.1%		9.7%	△0.8%		
ROE	8.4%	9.4%	1.0%		7.9%	△1.5%		
ROA	6.5%	6.5%	0.0%		5.6%	△0.9%		
一株当たり純資産(円)	836	1,001	165	19.7%	—	—	—	



3-1 PACIFIC GLOBAL VISION 2020

16

GLOCALとは、「GLOBAL」と「LOCAL」を組み合わせた造語です。私達は、世界(GLOBAL)を舞台に成長を図り、それぞれの地域(LOCAL)の発展に貢献したいと思っています。

めざす企業像・機能のあり方

<創立100周年 2030年への一里塚として策定>

- 「連結経営」から「融合経営」へ
- 5つの“シンカ”(深化・進化・新化・真価・信加)を追求する企業

5つの“シンカ”



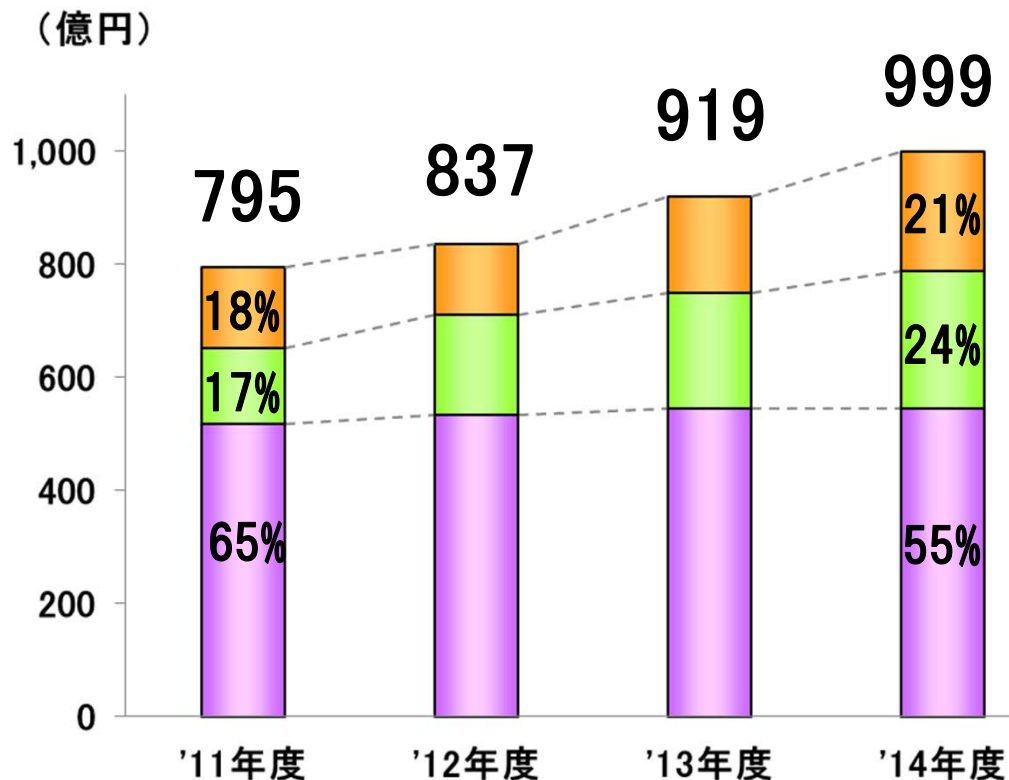
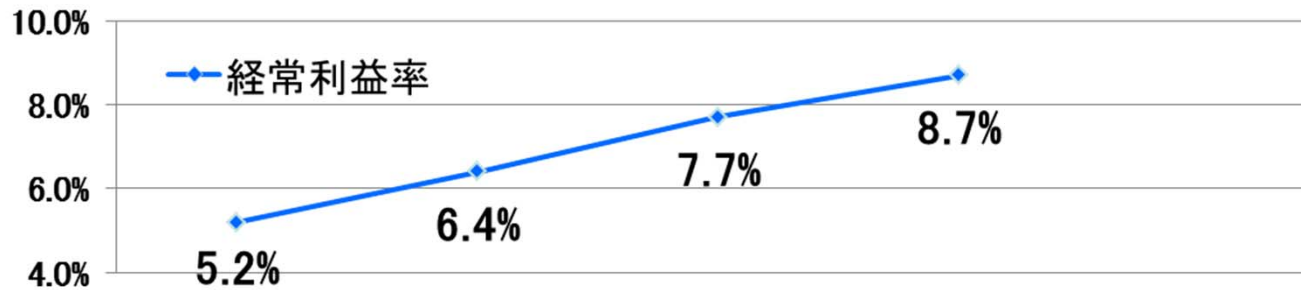
- ① 深化 : 改善する力
- ② 進化 : 革新する力
- ③ 新化 : 新技術・事業を起こす力
- ④ 真価 : 企業価値を高める力
- ⑤ 信加 : 信頼を勝ち取る力

CSRのトライアングル



3-2 中期経営計画「OCEAN-15」

OCEAN-15で「守りから攻め」へ転換



2015年度 目標

連結売上高 : 950億円

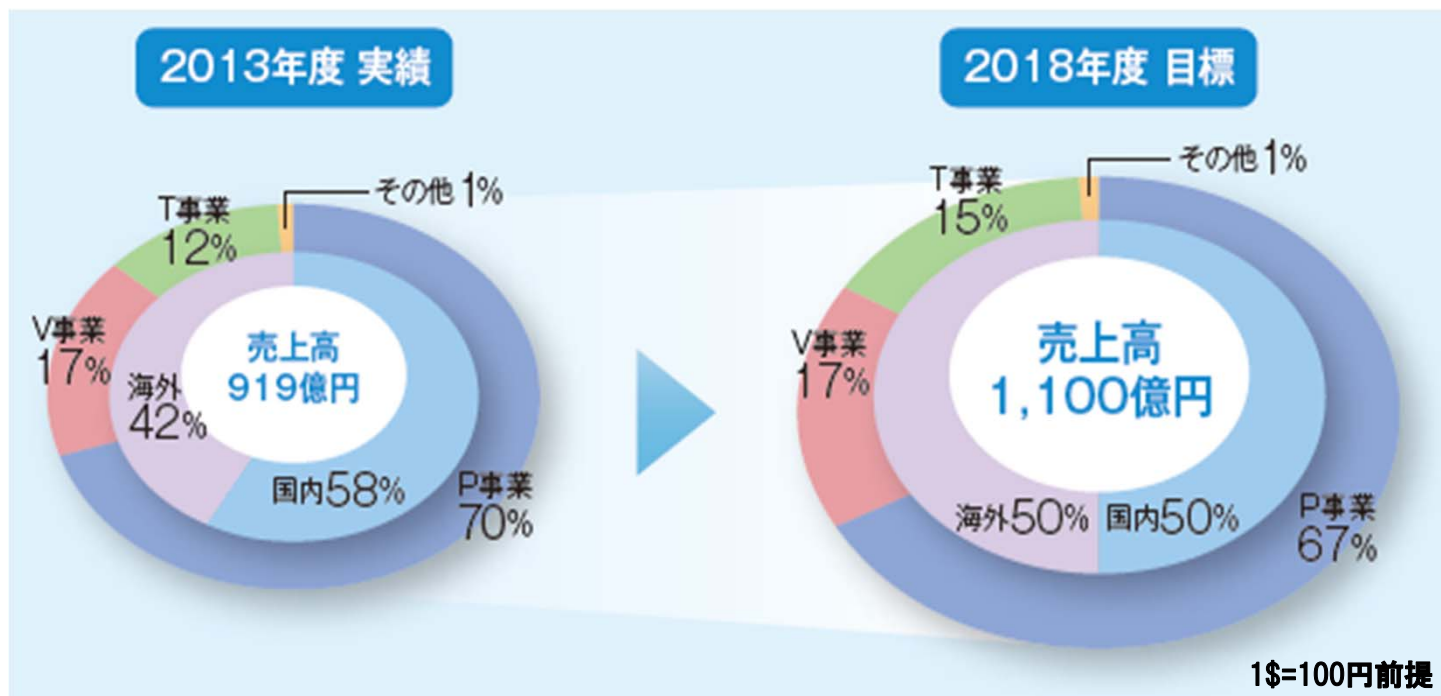
連結経常利益率: 6%台

海外売上高比率: 40%以上

総資産回転率 : 1.05回転

■ アジア
■ 北米
■ 日本

3-3 新中期経営計画「OCEAN-18」

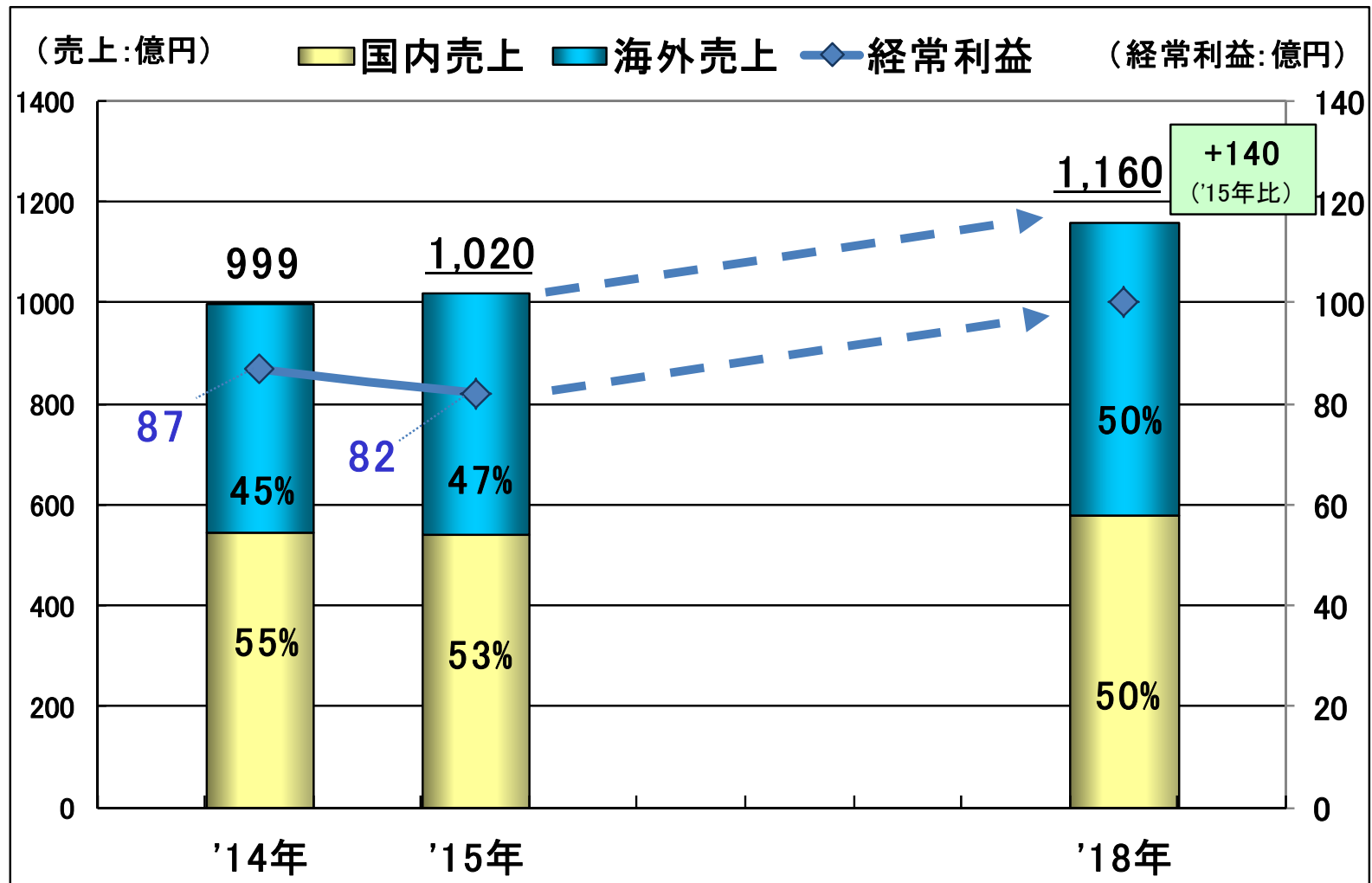


2018年度 目標

連結売上高	: 1,100億円
連結経常利益	: 8%台
海外売上高比率	: 50%以上
総資産回転率	: 1.05回転以上

P事業…プレス・樹脂加工 V事業…タイヤバルブ・空調バルブ T事業…TPMS(タイヤ空気圧監視システム)

3-4 OCEAN-18 業績予想



3-5 主な戦略投資の内容

(単位:百万円)

地域	内容	投資額(工事ベース)			
		13年度	14年度	15年度	13-15累計
日本	東北地区拠点整備(プレス工場建設)	400	1,800	400	2,600
	(3-6) 超ハイテン、ホットスタンプ加工対応	1,100	1,000	700	2,800
	(3-10) 高精度プレス事業の増強	100	100	300	500
	環境投資	300	200	100	600
日本 計		1,900	3,100	1,500	6,500
北米	(3-7) 米国 プレス事業拡充	—	3,800	1,900	5,700
北米 計		—	3,800	1,900	5,700
アジア	(3-6) 中国天津 プレス機増設	1,600	300	300	2,200
	(3-8) 中国長沙 プレス工場・設備	1,500	1,400	300	3,200
	(3-12) 中国常熟 TPMS工場・設備	—	200	1,800	2,000
	(3-9) タイ 工場・樹脂設備他	300	300	500	1,100
	(3-11) 韓国 アルミダイカスト工場・設備	1,300	800	400	2,500
アジア 計		4,700	3,000	3,300	11,000
合計		6,600	9,900	6,700	23,200
年度別 総投資額		11,160	15,390	13,850	40,400

3-6 超ハイテン材加工能力の拡充

■ 1,180MPaの超ハイテン材のプレス加工ライン増強

自動車メーカーの軽量化ニーズに対応するため、
超ハイテン加工能力を増強。日米中グローバル生産体制構築。

	導入拠点		加圧能力(t)	稼働時期
冷間プレス	日本	九州	2500	'14年2月
		大垣	3000	'15年2月
	北米	米国	3000	'16年春予定
	中国	天津	2500	'14年1月
ホットスタンプ	日本	養老	500	'14年5月



2018年度売上高増加見込:約65億円

ホットスタンプとは
電気炉で約900℃に加熱した鋼板をプレス加工し、高い強度を持たせる工法。

3-7 北米プレス事業の強化

■北米に第2拠点を設立

北米の自動車産業拡大に対応するため、
テネシー州ジャクソン市近郊に第2の
生産拠点を設立し、北米市場における
受注拡大を図る。

商 号 : Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.

資 本 金 : 25百万ドル

投資総額: 43百万ドル

設 立 : 2014年7月

生産開始: 2015年8月

2018年度売上高増加見込: 約40億円



北米新拠点の完成予想図



グランドブレイキングセレモニー
(2014年8月)

3-8 中国プレス事業の強化

■ 中国市場における競争力強化と多客化推進

長沙の子会社では、广汽三菱と取引を開始。
2014年9月にプレス一貫工場完成。
新たにハイブリッド車用バッテリーケースの
生産を開始し、日系メーカー向けに拡販予定。

2018年度売上高増加見込：約15億円



長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
新プレス工場の開業式(2015年3月)



ハイブリッド車用バッテリーケース

3-9 樹脂事業の拡充

■タイで樹脂事業を開始

タイの子会社に第2工場を建設し、樹脂製品の生産を開始。
主要製品のホイールキャップは、技術・デザイン・コスト競争力が評価され、日系自動車メーカー7社から受注を獲得。

2018年度売上高増加見込：約10億円



タイの子会社の新工場



オーナメント



ホイールキャップ

3-10 高精度プレス事業の拡充

■ 高精度プレス加工の能力増強

エンジン・トランスミッションの高精度部品をネットシェイプにより、プレス加工で製造。

生産能力増強、新技術と多客化により、2018年度迄に50%の売上拡大をめざす。

2018年度売上高増加見込:約10億円



キャリアプレート



スプロケット

3-11 ダイカスト事業の拡充

■ 韓国：太平洋エアコントロール工業で アルミダイカスト事業を拡充

2011年3月、現代自動車のSQ認定取得

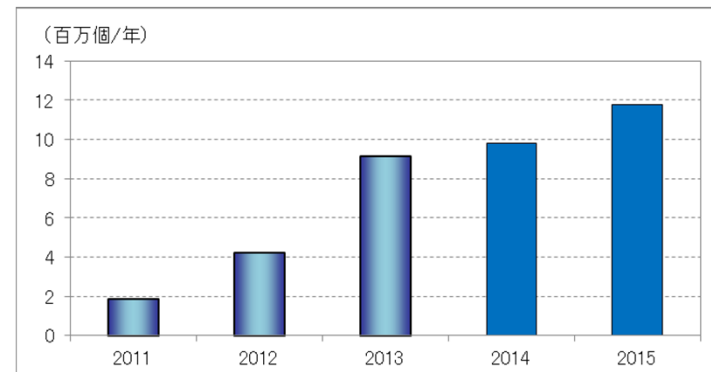
カーエアコン用コンプレッサーの
ケーシング部品をダイカストから
切削加工まで一貫生産。

2018年度売上高増加見込：約10億円



アルミダイカスト製品

＜生産数量＞



3-12 TPMS事業の拡充

■TPMSの中国現地生産化

中国におけるTPMS装着法規化を想定し、子会社を設立。
日系・欧州系・ローカル自動車メーカーへの受注拡大をめざす。

商 号 : 太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司

所在地 : 江蘇省常熟經濟技術開發区沿江工業区

資本金 : 100百万人民币元(約16億円)

投資総額 : 180百万人民币元(約30億円)

設 立 : 2014年7月

生産開始 : 2016年4月



新工場の起工式(2015年1月)

2018年度売上高増加見込: 約15億円

コーポレートガバナンス(CG)・コードの対応

■ 社外取締役の増員

- ・社外取締役を1名→2名体制にし、経営の透明性の確保およびコーポレートガバナンスの一層の強化を図る。

■ 招集通知を発送日前日にHPで開示

- ・株主の皆様の議案に対する熟慮期間を確保できるよう、早期開示する。
→2015年株主総会から実施

■ 議決権の電子行使(プラットフォームの導入)

- ・東証プラットフォームを導入することにより、機関投資家の方々等の権利行使に係る環境に配慮する。
→2016年株主総会から実施予定

主な経営指標

	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3(予)
売上高	795億円	837億円	919億円	999億円	1,020億円
営業利益	36億円	43億円	55億円	69億円	70億円
経常利益	41億円	53億円	70億円	86億円	82億円
当期純利益	32億円	28億円	45億円	67億円	60億円
売上高経常利益率	5.2%	6.4%	7.7%	8.7%	8.0%
ROA:総資産経常利益率	4.8%	5.7%	6.6%	6.9%	6.0%
ROE:株主資本利益率	8.6%	6.4%	8.7%	10.2%	7.9%
1株当たり当期純利益	61.68円	52.57円	85.80円	125.47円	112.10円
自己資本比率	44.1%	49.6%	49.5%	55.5%	—
1株当たり純資産	748.15円	900.89円	1,079.42円	1,385.19円	—
配当性向	16.2%	20.9%	18.6%	19.1%	—
期末株価	525円	563円	692円	983円	—
PER:株価収益率	8.51倍	10.71倍	8.07倍	7.83倍	—
PBR:株価純資産倍率	0.70倍	0.62倍	0.64倍	0.71倍	—